

第2章

新元気世代プロジェクトの 目指す姿と基本方針

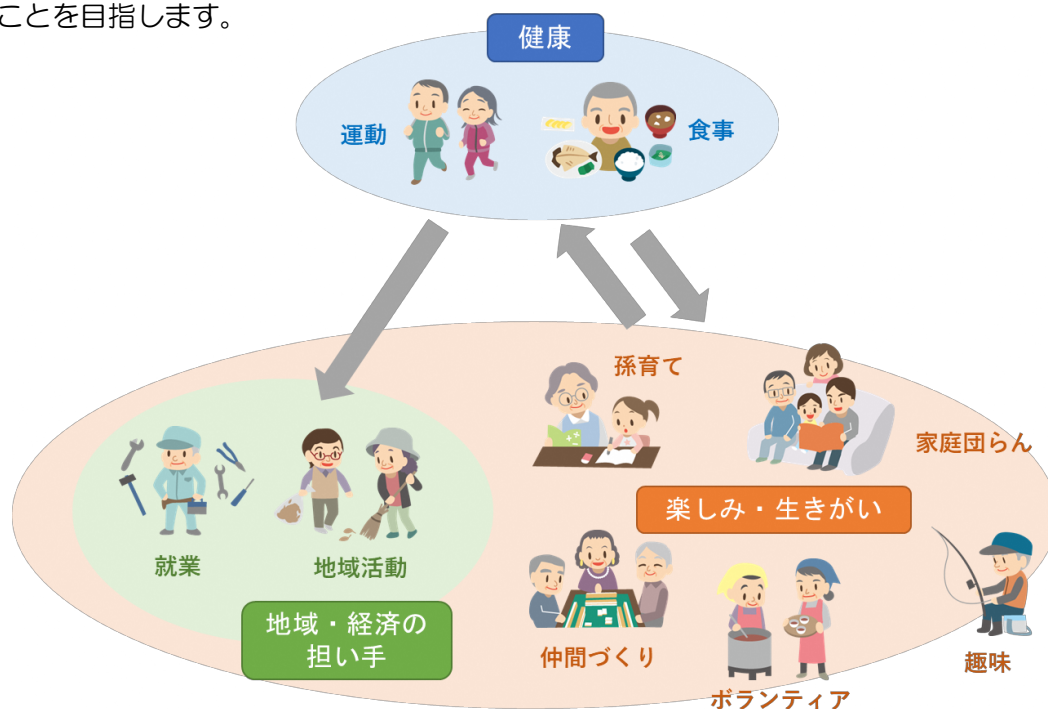
1. 新元気世代プロジェクトの目指す姿

新元気世代を取り巻く現状や課題を踏まえ、本市が目指す新元気世代プロジェクトの姿を次のように掲げます。

1) 目指す姿

生涯にわたり笑顔あふれる豊かな暮らしを送れるまち

- 新元気世代が日頃から心身の健康増進を図り、生涯にわたり健康で不自由のない生活を送ることを目指します。
- 新元気世代が、生きがいとなるボランティアや趣味などを見つけ、楽しむことのできる環境を創造します。
- 意欲ある新元気世代が、自身の経験や知識、技術等を活かし、産業や地域コミュニティ等の担い手となることを目指します。
- 趣味活動や仲間づくりを通じて、新元気世代の社会的孤立を防ぎ、誰もが社会参加することを目指します。



2) SDGs の取組

SDGs^{※1}の目標のうち、「3.すべての人に健康と福祉を」、「11.住み続けられるまちづくりを」、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」の目標達成に向けて取組を進めます。



※1 SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。SDGs は 2015 年 9 月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟 193 国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げた目標です。17 の大きな目標と、それらを達成するための具体的な 169 のターゲットで構成されています。

2. 新元気世代プロジェクトの基本方針

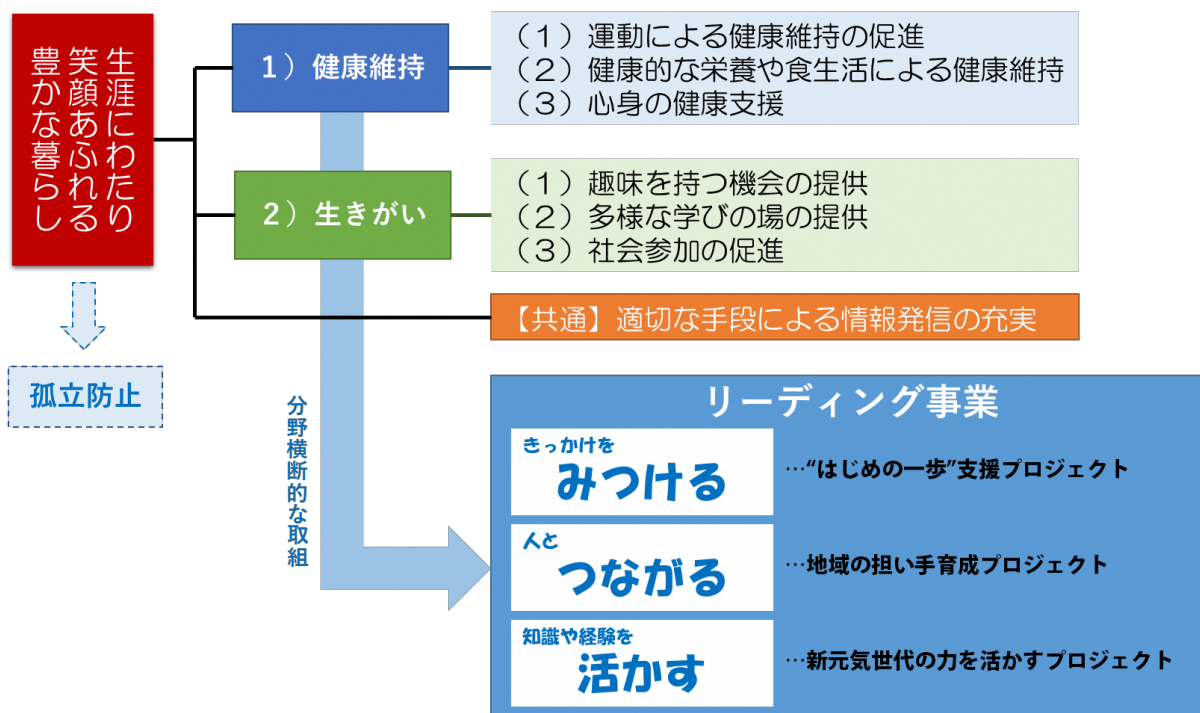
目指す姿を実現するためには、その土台となる健康維持の取組を行っていく必要があります。各種調査※1の結果を踏まえ、健康寿命の延伸に効果があるとされる運動や食、社会参加によって健康維持を図っていきます。

また、市民の健康維持は、社会貢献活動の活性化につながることから、意欲ある新元気世代の経験や知識、技術が積極的に社会に活かされ、社会参加や地域の支え手として活躍できる環境を整えていきます。

また、「仕事や子育てが一段落した後何をしたらよいかわからない」という声があるなか、共通の趣味を通じた人とのつながりづくりも、社会参加の第一歩となります。

そこで、本市で取り組んでいる「運動」や「食生活」などの『健康維持』分野に加え、生きがいを持った暮らしの実現のための地域活動や就労などによる「社会参加」、スポーツ活動や文化活動などによる「趣味」、これらを充実させる『生きがいづくり』分野の取組を総合的に支援し、笑顔あふれる暮らしの実現を図っていきます。

<プロジェクト全体の概念図>



※1 内閣府「高齢者の健康に関する調査」、静岡県総合健康センター「長生きに必要な『運動』『栄養』『社会参加』の3要素の関係の調査」など

目指す姿を実現するために、プロジェクトの基本方針及び目標値を次のように掲げます。

1) 健康維持分野

健康維持分野共通の目標を次の通り定めます。

<共通指標>

指標	現況値	目標値
焼津市民の健康寿命（平均自立期間） ※焼津市独自に算出した、65歳から元気で自立して暮らすことのできる期間	男性：17.78年 女性：20.60年 平成30年度	男性：18年 女性：21年 令和6年度
自分自身が心身共に健康だと思う 50歳以上の市民の割合【市民意識調査】	66.2% 平成30年度	75% 令和6年度

(1) 運動による健康維持の促進

日常生活で体を動かすことの大切さを伝え、運動・スポーツをしやすい環境や取り組むきっかけ、大会等を提供することで、新元気世代の心身の健康づくりを促します。

<個別指標 1-1>

指標	現況値	目標値
スポーツを週2回以上行っている 50歳以上の市民の割合【市民意識調査】	31.3% 平成30年度	35% 令和6年度

(2) 健康的な食生活や生活習慣の定着

栄養バランスに配慮した食生活についての知識の普及や食や料理を楽しむことを通じ、健康的な食習慣や食への関心を身に付けるとともに、十分な休息をとっている健康な市民を増加させます。

<個別指標 1-2>

指標	現況値	目標値
栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている 50歳以上の市民の割合【市民意識調査】	48.0% 平成30年度	増加 令和6年度

(3) 健康に関する市民意識の向上と相談体制の充実

健康管理に関する啓発や健康診断の受診促進等により、健康づくりに対する市民意識の向上を図るとともに、相談体制を充実することで、市民の健康的な生活を支援します。

<個別指標 1-3>

指標	現況値	目標値
特定健診受診率（40～74歳） （国保特定健診受診率）	38.8% 平成30年度	44% 令和5年度

2) 生きがいづくり分野

生きがいづくり分野共通の目標を次の通り定めます。

<共通指標>

指標	現況値	目標値
生きがいを感じている 50 歳以上の市民の割合 【市民意識調査】	79.8%※1	85%
	令和元年度	令和 6 年度

※1 現況値（令和元年度）は、「新元氣世代の生活に関するアンケート調査」の結果

(1) 趣味を持つ機会の提供

趣味となり得る講座や体験活動等を実施するなど、趣味を持つきっかけを提供し、市民が仕事以外の楽しみを持つことを推奨します。また、趣味を通じた仲間づくりも促進します。

<個別指標 2-1>

指標	現況値	目標値
趣味クラブプログラム参加者数（年間延べ人数）	—	1,300 人
	—	令和 6 年度

(2) 多様な学びの場の提供

新元氣世代が充実した生活を送ることができるよう、様々な学びの場を提供し、市民の学ぶことへの意欲を高めるとともに、地域に必要とされる知識や技術の習得を促します。

<個別指標 2-2>

指標	現況値	目標値
公民館利用者数【焼津市資料】	451,266 人	455,000 人
	平成 30 年度	令和 6 年度

(3) 社会参加の促進

新元氣世代が社会から孤立することなく生活し、生きがいを感じるができるよう、自分自身の経験や趣味などから培った知識や技術等を活かした就業やボランティア活動、地域の支え合い活動等の社会参加を促します。

<個別指標 2-3>

指標	現況値	目標値
地域支え合い協議体で出された課題の解決率 【焼津市資料】	88.9%	90%
	平成 30 年度	令和 6 年度

3) 共通分野

(1) 適切な手段による情報発信の充実

健康づくりや生きがいづくりに関する各種情報を整理し、適切なツールを使って効果的に発信することで、新元気世代の健康づくりや生きがいづくりを支援します。